

平成 26 年度装置開発技術系活動報告

鷺見 高雄

工学系技術支援室 装置開発技術系

はじめに

平成 26 年度の装置開発技術系では、前年度末で 1 名が定年退職された。4 月 1 日付で空席となっていた 1 名の新規採用（11 月 1 日付）を行い、現在、本部付きを含め 4 班 21 名の構成で業務にあたっている。

1. 装置開発技術系の実施業務

装置開発技術系では、機械工作・ガラス工作と電子回路工作の 3 部門が協力して、短期・長期業務依頼による研究者・大学院生・学生の独創的なアイデアによる教育・研究に必要な装置開発に関する技術相談や実験装置の設計・試作・製作を行っている。また、工学研究科関連施設である創造工学センターものづくり公開講座や世界展開力強化事業短期留学ものづくり体験などの教育支援（本技報掲載参照）、各学科・専攻主催の安全教育や工作実習支援業務、ナノテクプラットホームの半導体プロセス技術及びナショナルコンポジットセンター大型耐雷試験装置の実験オペレータや装置の維持管理業務などを実施している。

当技術系への業務依頼件数（平成 27 年 1 月末現在）は、その大部分を占める短期業務であり、機械系 376 件、ガラス工作系 138 件となっている。これに加えて、年間業務としては 21 件の依頼があり、その内訳は機械系 10 件、回路系 11 件となっている。

2. 業務調整会議

系の運営について協議する会議であり、本年度は課長、課長補佐、班長の 6 名で構成されている。技術部調整連絡会議開催後の火曜日、始業時より 1 時間程度開催している。主な議題は、技術部調整連絡会議の報告、班会議の報告、業務の進捗状況および技術系内の検討事項について協議している。1 月末までに 20 回開催され、毎回の議事録は、輪番で書記を務め、次の会議の冒頭で読み合わせを行い、内容の承認を得ている。

3. 系専門委員会

系内の業務の執行状況や運営にかかわる諸問題について協議する委員会であり、教員 4 名技術職員 6 名（課長、課長補佐、班長）で構成されている。

本年度の会議は、以下のように日程と議題について行われた。

- | | |
|------|--|
| 日 時 | : 平成 26 年 7 月 10 日（木）9:00～10:30 |
| 場 所 | : 工学部 7 号館 B 棟 3 階 313 号室 技術部会議室 |
| 報告事項 | : 1) 装置開発技術系専門委員会の構成について
2) 前回議事録の確認
3) 平成 25 年度活動報告について |

- 議 題
- 1) 平成 25 年度の決算について
 - 2) 平成 26 年度の予算案について
 - 3) 平成 26 年度活動計画について
 - 4) 新規採用職員採用要望について
 - 5) その他

4. 系に関わる研修等

当技術系では、半数以上が 50 歳代であり、定年退職に伴い新規採用した若手技術職員らの育成と技術の伝承が重要な課題である。研鑽・研修等を行うことにより、業務遂行に必要な知識や技術について熟練技術者からの技術継承を行っている。ベテラン技術職員と若手職員が一緒になってスキルアップと技術伝承をはかること目的として、全学技術センター主催研鑽プログラム、工学系技術部主催系研修、名古屋大学自主企画研修などへ積極的に研修企画の提案を行った。以下に平成 26 年度採択され実施している研鑽プログラムと研修を示す。

- ・名古屋大学全学技術センター研鑽プログラム 3 件（内 1 件は他技術系の企画へ参加）
 - 1) 「マスターCAM による自動加工技術の習得」
山本浩治、白木尚康、中木村雅史、後藤伸太郎、磯谷俊史
 - 2) 「TIG 溶接技術の習得と継承」（本技報掲載参照）
中西幸弘、中木村雅史、後藤伸太郎、磯谷俊史、足立勇太、小塚基樹
 - 3) 「カスタム IC 設計・評価技術の習得」澤木弘二
- ・工学系技術支援室系研修
 - 4) 「ワイヤ放電加工機によるテーパ加工の検証」（本技報掲載参照）
立花一志、小塚基樹、長谷川達郎、磯谷俊史、鷺見高雄
- ・名古屋大学自主企画研修
 - 5) 「セミナー参加型自主企画研修 ー北海道大学総合技術研究会・第 8 回ガラス工作技術シンポジウム・三重大学技術発表会ー」
鷺見高雄、小塚基樹、白木尚康、森木義隆、川崎竜馬

5. 技術講習会

当技術系のガラス精密切断機が新しく更新されたことにより、本装置の特徴と操作方法を周知習得することを目的に、他の技術系技術職員も含め下記要領で実施した。

- 講習題目 : 2 次元万能高精度切断機による加工方法
開催日時 : 平成 26 年 10 月 10 日（金）14 : 30～16 : 30
開催場所 : ガラス加工試作室 実験実習工場 2 階 205 号室
講 師 : 川崎竜馬技術職員

講習内容については、平成 26 年度装置開発技術系講習会報告として、本技報別頁に掲載している。

6. 出張報告会等

技術系の構成員が研究会、講習会等の出張により得られた知識や情報を共有することや各技

術職員の説明、表現等の発表力向上の目的として、出張報告会を6回開催した。

第1回平成26年5月9日10:00～11:00

「情報工学実験の視察・調査及び学外技術交流」大阪大学 報告者：土井富雄

第2回平成26年6月13日11:00～12:00

「ダイヘンテクノス TIG 溶接道場を受講して」

ダイヘン六甲事業所 FA センター 神戸 報告者：磯谷俊史

第3回平成26年7月11日9:00～10:00

「TIG 溶接実践技術（ステンレス鋼管編）」ポリテクセンター中部 報告者：後藤伸太郎

第4回平成26年9月12日9:00～10:00

「ノースヒルズ溶接工業視察報告」 報告者中西幸弘

第5回平成26年10月10日10:00～11:00

平成26年度北海道大学総合技術研究会発表及び聴講参加 北海道大学

- 1) 「プロジェクトイル (D-SEND#2) の製作」 報告者：山本浩治
- 2) 「中性子検出器用球殻状減速材の製作」 報告者：後藤伸太郎
- 3) 「5自由度磁気軸受装置の製作」 報告者：磯谷俊史
- 4) 「名古屋大学工学研究科創造工学センター高大連携・ものづくり公開講座」
テーマ [湿度・温度計] の改良改善と企画・実践 報告者：澤木弘二
- 5) 「北海道大学総合技術研究会参加と施設見学」 報告者：小塚基樹、川崎竜馬

第6回平成26年11月14日11:00～12:00

- 1) 「平成27年度能力開発セミナー説明会」中部ポリテクセンター 報告者：福森勉
- 2) 「JIMTOF2014 と東京大学生産技術研究所技術交流」東京 報告者：山本浩治
- 3) 「第8回ガラス工作技術シンポジウム」東北大学 報告者：白木尚康、川崎竜馬

また、当技術系と機械系教室の教員や学生の方々の技術交流をはかる目的として、機械系技術支援発表会を平成26年2月13日に平成25年度の関連業務の中から4件を技術発表した。参加者は、教員7名技術職員14名、大学生、大学院生他34名であった。